



START UP GUIDE

Business Plan 編
for Android ver 3.0.0~

ビジネスプラン機能について

Business Plan編

本ガイドは、ビジネスプラン機能の操作について説明しております。

① [はじめに](#) P2

② [録音機能について](#) P4

- 1-1. アプリの操作 – 録音の開始/停止
- 1-2. 録音データの確認・ダウンロード

③ [文字起こし機能について](#) P6

- 2-1. 概要
- 2-2. アプリの操作
- 2-3. 管理画面の操作 – データの参照
- 2-4. 管理画面の操作 – データの修正
- 2-5. 管理画面の操作 – データの絞り込み
- 2-6. 管理画面の操作 – データのダウンロード



iOS



Android

④ [ユニットトーク機能について](#) P14

- 3-1. 使い方 – マイクアイコン
- 3-2. Tips – ボタンのダブルタップ
- 3-3. 使い方 – ルーム音量調整



⑤ [チャット機能について](#) P17

- 4-1. 遷移方法
- 4-2. 使い方 – 送信方法
- 4-3. 使い方 – 定型文の登録方法
- 4-4. 使い方 – 編集・削除・コピー

⑥ [ライブ配信機能について](#) P22

- 5-1. 概要・注意事項
- 5-2. ライブ配信方法
- 5-3. 過去配信の閲覧

⑦ [テナントまたぎ機能について](#) P25

- 6-1. 概要・注意事項
- 6-2. ホスト・ゲストについて
- 6-3. 操作可能範囲の違い
- 6-4. アプリ操作

詳細のお問い合わせやご契約については、
担当営業もしくはBONXまでお問い合わせください。
BONX : b4b_info@bonx.jp

① はじめに

BONX WORKをご利用いただきありがとうございます。
本ガイドでは、BONX WORKのビジネスプラン、オプション契約をされているお客様向けに各種機能の説明しております。
テナント作成、管理画面の操作方法については、管理者向けのStart Up GuideのSet Up編をご覧ください。
基本的なアプリの操作説明は、Start Up GuideのTalk編をご覧ください。

推奨環境・対応端末状況について

- BONX WORKの推奨環境については、[こちら](#)からご確認ください。
- 対応端末状況は、[こちら](#) もしくは下記QRコードよりご確認ください。
- ※Androidは動作保証ができませんので、ご利用開始前に上記ページを必ずご確認ください。



[対応端末](#)

BONX WORKアプリご利用上の注意

BONX WORKをご利用の際は以下の点にご注意ください。

- アプリダウンロードの際は [BONX WORK] をダウンロードして下さい。
※ コンシューマー向け [BONX] を誤ってダウンロードしないようご注意ください。
- コンシューマー向け [BONX] と [BONX WORK] を同時に立ち上げると、BONXイヤフォンやアプリの機能にて、問題が発生する可能性があります。
利用する時はどちらか片方だけを立ち上げてください。

ヘルプセンター・お問い合わせ先

WEBヘルプセンターでは、スタートアップガイド（マニュアル）・オンボーディング動画を掲載しておりますのでご覧ください。

各項目別の操作方法、トラブルシューティングについても随時更新をしております。

ご不明点は弊社サポートセンターまでお気軽にお問い合わせください。



[スタートアップガイド・
オンボーディング動画](#)



[ヘルプセンター](#)



[お問い合わせ](#)

① はじめに

ビジネスプラン機能について

ビジネスプランをご契約の場合、下記の機能をご利用いただけます。
また、エントリープランをご契約のお客様でも、ビジネスプランの一機能ごとを有償オプション※1にて追加することが可能です。
詳しくは、担当営業もしくはBONXサポートチームまでお問い合わせください。

1. ユニットトーク（複数ルーム同時通話）
2. チャット
3. 録音/文字起こし
4. 緊急呼び出し※2
5. テナントまたぎ※2
6. PC版※2
7. ライブ配信
8. 接続デバイス管理※2
9. SAML認証によるSSO ※3
10. 音声通知API連携 ※3

※1 ビジネスプランのみ利用可能な機能もございます。詳しくはお問い合わせください

※2 ご利用時にBONX側での設定が必要になります。BONX側へお問い合わせください
緊急呼び出しは、24年10月現在はiOS版のみ提供しております

※3 SAML認証によるSSO、音声通知APIは、テナント毎に設定費用が発生いたします

本マニュアルでご紹介する機能について

本マニュアルでご紹介するビジネスプランの機能は以下の機能になります。
各機能ごとのサービス概要・注意事項は、各機能ごとのページをご参照ください。

録音	ルーム内の会話を録音し、データ出力も行える機能です
文字起こし	ルーム内で会話した内容をテキスト化する機能です 後から内容を確認することも可能です
ユニットトーク (複数ルーム同時通話)	同時に最大7つのルームに接続ができ、会話ができる機能です
チャット	テキスト、音声メッセージ、画像送信ができる機能です テキストの音声読み上げも設定可能です
ライブ配信	ライブ配信に招待したメンバー間で映像を確認しながら会話ができる機能です
テナントまたぎ	別のテナントのユーザーが同じルーム内で会話ができる機能です

① 録音機能について

1. アプリ操作 – 録音の開始/停止

録音したいルームに接続します。開始・停止操作は、ルーム詳細画面もしくは、トーク操作パネルから行うことができます。録音ボタンは、**管理者権限もしくはマネージャー権限**がないと表示されませんのでご注意ください。

録音は、開始した人がルームから切断しても、継続されます。

ルーム詳細から開始・停止する



ルームアイコンの⋮からルーム詳細を開きます。
[録音を開始] をタップするとポップアップが表示されます。

[録音] を選択すると録音が始まります。

停止する時は、再びルーム詳細を開きます。
[録音を停止] をタップし、ポップアップの

[**停止**] を選択すると録音が止まります。

トーク操作パネルから開始・停止する



トーク操作パネル画面の3点リーダーから
[録音を開始] をタップするとポップアップが表示されます。

[録音] を選択すると録音が始まります。

停止する時は、再び3点リーダーを開きます。
[録音を停止] をタップし、ポップアップの

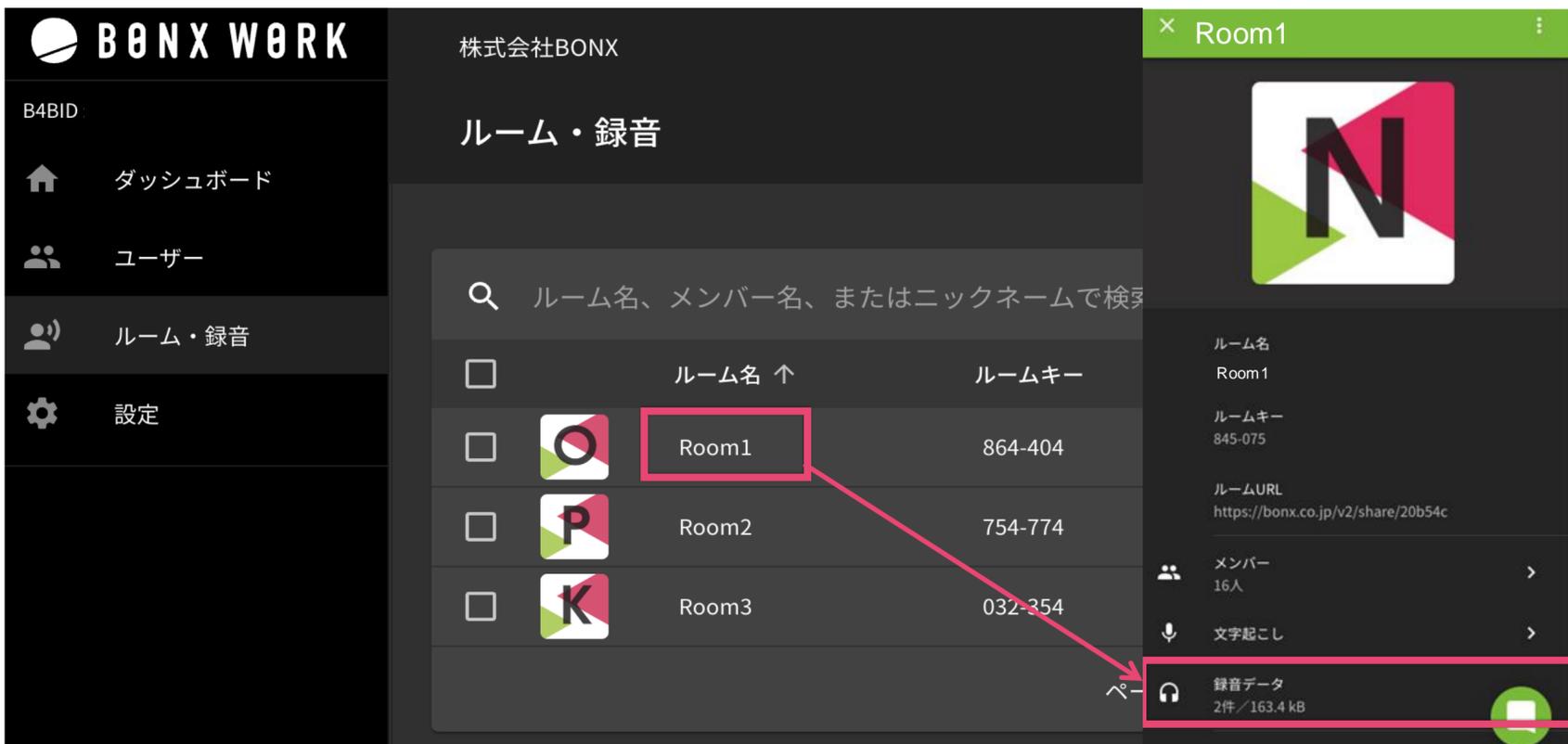
[**停止**] を選択すると録音が止まります。

① 録音機能について

2. 録音データの確認・ダウンロード

録音データの再生、ダウンロードは管理画面から行います。
上記の操作は、**管理者権限もしくはマネージャー権限**にて操作可能です。

録音データ画面の開き方



ルーム・録音 > 該当のルームを選択し、ルーム詳細画面 > 録音データ

録音データの再生方法



確認したいデータを押すと
録音した音声を再生することができます

録音データのダウンロード方法



ダウンロードしたいデータにチェックを入れると
画面上部に[ダウンロード]ボタンが表示されます。
そちらをクリックし、ダウンロードに進みます

Tips 録音データは、30秒間の無音区間が続くと、分割されて出力されます。

② 文字起こし機能について

1. 概要

文字起こし機能・Speech to Textとは

BONX WORKアプリを通して行なった会話を自動的にテキスト化する機能です。日報の入力を声で行ったり、録音データの文字起こしを不要にしたり、会話のログをテキストとして残しておき、途中から会話に参加した人が会話の内容を確認するなど、業務の効率化を加速させます。

※日本語のみの対応となります。

- Speech to Text 機能の技術的特長
BONXは特殊な発話検知の仕組みで特許を取得しており、この特許技術によって会話の音声と、会話以外の雑音を明確に分けることが可能です。会話以外の雑音を除いたクリアな会話の音声データによって、音声認識エンジンで文字に変換する前の音声データのクオリティを上げることで、文字変換の精度を少しでも高くすることが可能です。ただし、言葉の区切りによっては、単語が間違っ変換される可能性があります。

文字起こしを上手に使うコツ

認識率を上げるために、お使いいただく際は以下の点に心がけてお話しください。

- ・ 短文で話す
- ・ なるべくはっきりと発音する
- ・ ゆっくりと話す

また、Speech to Text には以下のような特徴があります。

- ・ 句読点等は強制的に入力できません。（「マル」と言っても「。」は入力されません）
- ・ 押しながら話すボタンを押した状態で0.7秒間発話されず、その後再度発話された場合には、複数の発言に分かれます。※稀に他の音を拾ってしまった場合には、一つの発言となります。
- ・ 空白は半角スペース、句読点等の記号も半角として表示されます。
- ・ 日本語に英語が交じる場合、一般的な英語はカタカナになる傾向にあります。そうでない場合はアルファベットで出力されるケースが多いです。
例)「タイミング」「パスワード」はカタカナ、「success」はアルファベット
- ・ 固有名詞が入ると、単語の区切りが分からなくなるため、その言葉以降が正しく表示されないことがあります。
- ・ 発言が俗語と検知された場合に、伏せ字に変換されることがあります。

Tips

音声認識精度を高めるため、BONX純正イヤフォンのご利用をおすすめいたします。

② 文字起こし機能について

1. アプリの操作

文字起こし機能のON/OFF

文字起こしをしたいルームのルーム詳細もしくは、トーク操作パネルから文字起こし画面に遷移し、文字起こしを開始/停止を行います。文字起こしボタンは、**管理者権限もしくはマネージャー権限**がないと表示されませんのでご注意ください。



ルームアイコンの...から、
ルーム詳細を開き、
[文字起こし] をタップ

or

トーク操作パネルから遷移する

文字起こしのタブを開きます。

【開始時】

文字起こし画面下段のボタン **[文字起こしを開始]** を押します。
表示が **[文字起こしを停止]** に変わり、文字起こしがONになります。
ルーム内の会話が文字に起こされていきます。

【停止時】

文字起こし画面下段のボタン **[文字起こしを停止]** を押します。
表示が **[文字起こしを開始]** に戻り、文字起こしがOFFになります

Tips

- [文字起こしを開始] をタップしたあと、ボタンの表示が変わるまで数秒お待ち下さい
- [文字起こしを停止] をタップしたあと、すぐに再度ONにしようとしてもうまく開始できないことがあります。5秒ほど待ってから再度、お試しください。
- 文字起こしのON/OFF操作がうまくできない（押しても切り替わらない）場合、一度トークルームから出て、再度入り直して下さい。
- 文字起こしは長時間ONにせず、必要なときにONにしてご利用ください。※長時間ONのままだと稀に停止する可能性があります。

② 文字起こし機能について

1. アプリの操作

文字起こし結果の表示方法

文字起こし結果は、文字起こしタブを開くと表示されます。
文字起こし結果は自動で更新されていきますが、更新に時間がかかる際は再度文字起こし画面を開き直してください。



- 自分の発言は右側、メンバーの発言は左側に表示されます
- 古い会話が上に、新しい会話が下に表示されます
- 上下にスクロールすることで、古い会話や新しい会話を見ることができます
- 最新の会話が最大500件まで表示されます
※表示順は古いものが上になります
- 全て表示する場合は、管理コンソールよりCSVダウンロードをご利用ください

文字起こし結果の音声再生（Androidアプリ ver 3.0.4以降）

文字起こし結果は、発言ごとについている再生ボタン(▶)を押すことによって、音声再生ができます。



【音声データの活用】

文字起こしエンジンの技術的な制約上、どうしても100%の精度では文字起こしを行うことができません。
違和感のある文字起こし内容になっていた場合には、再生機能を使って、元となる発言内容を確認してください。

Notice

1つの発言が5分を超える場合は再生できませんのでご注意ください。
有線イヤフォンでマイクオン状態のままだと、発話していない間でも文節で区切らず、長い発言になってしまうことがあります。

② 文字起こし機能について

2. 管理画面の操作 – 文字起こしデータの参照

文字起こし結果の表示方法

管理画面にログインし、[ルーム・録音] から、文字起こし結果を確認したいトークルームを選択します。画面右側のメニューより [文字起こし] から文字起こし結果を参照します。文字起こし開始してから終了するまでにデータは分割され、新しいものから順に文字起こし結果が一覧表示されています。

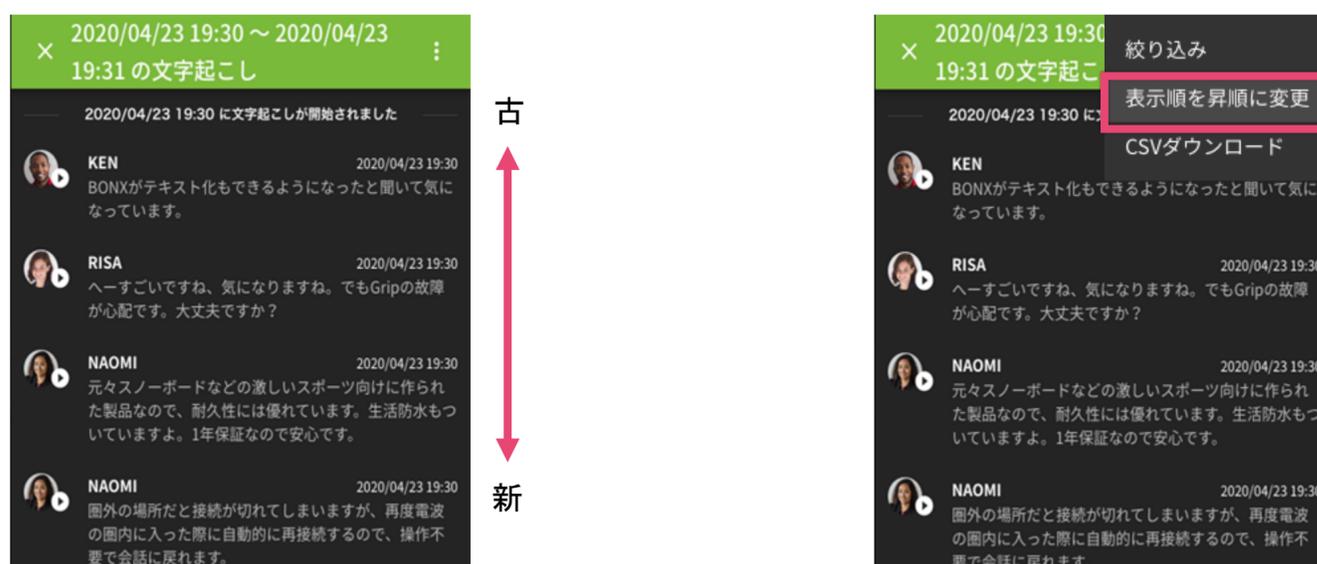


① 該当ルームを開き、「文字起こし」を選択します。

② 参照したい時間帯のデータを選択して参照します。

文字起こし結果の参照

文字起こし結果は、古い発言が上、新しい発言が下に表示されます。スクロールして参照してください。



① 古い発言が上、新しい発言が下に表示されます。

② 表示順の昇順/降順を入れ替えることができます。

Notice

管理画面の操作は、ブラウザによって挙動が異なる可能性があります。

② 文字起こし機能について

2. 管理画面の操作 – 文字起こしデータの参照

文字起こし中データの確認方法

該当のルームで文字起こし中の場合、新しい発話があると一番下に追加表示されます。過去の履歴を参照中の場合は、画面上部に新しい発話があった旨が表示されます。[新しいメッセージがあります] をクリックすると、最新メッセージまで移動します。



未読部分は背景色が変化して表示されます

文字起こし結果の音声再生

文字起こし結果は、発言ごとについている再生ボタン(▶)を押すことによって音声再生ができます。



Notice

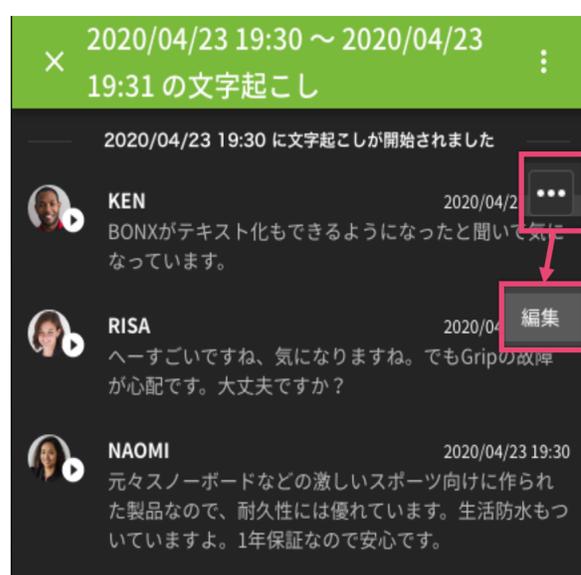
1つの発言が5分を超える場合は再生できませんのでご注意ください。

② 文字起こし機能について

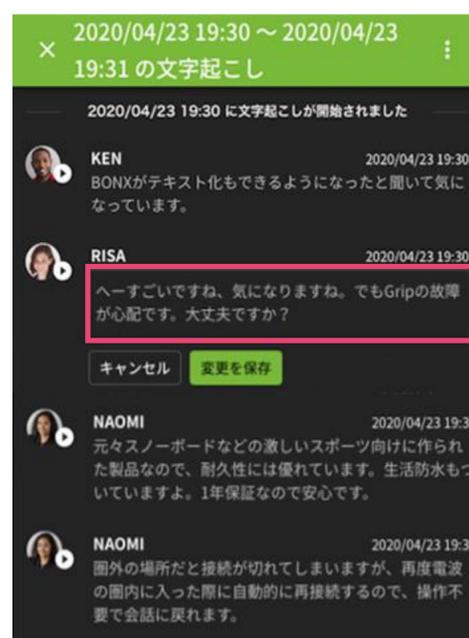
3. 管理画面の操作 – 文字起こしデータの修正

文字起こし結果の修正方法

文字起こし結果を修正したい場合には、管理画面から該当の発言内容を編集することができます。※データの修正は、管理画面のみで操作可能です。



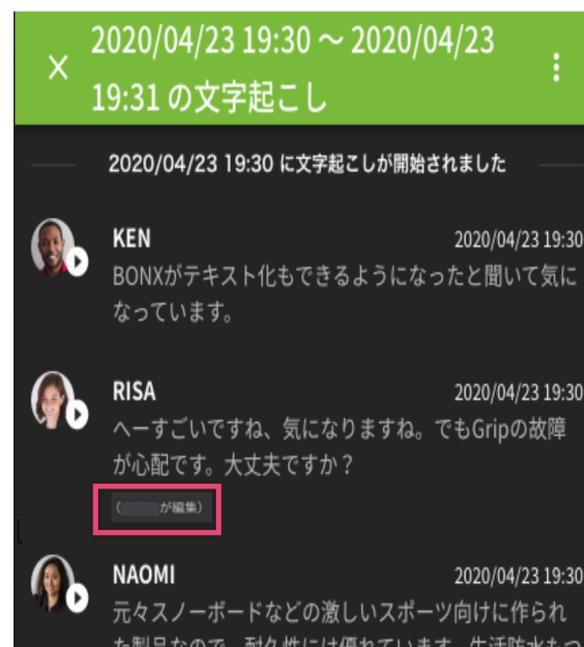
① 文字起こし結果を開き、修正したい発言の右上の「⋮」から「編集」を選択します。



② 文字起こし結果の編集を行ってください。



③ 変更を保存すると、反映されます。



④ 編集した発言には、編集した履歴が残ります。

アプリからも同様に編集した結果が参照できるように対応準備中です。

Tips

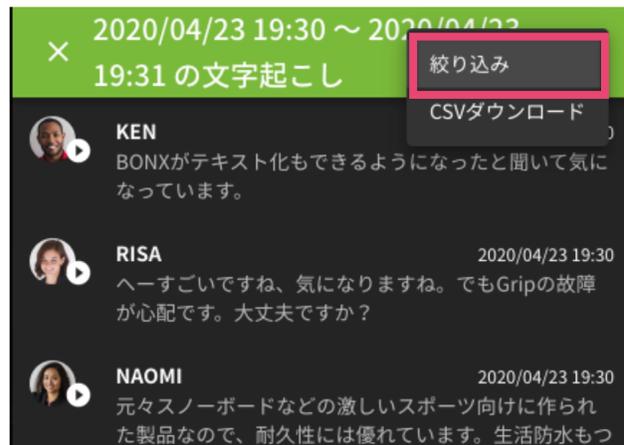
ルームに参加していない人が編集した場合、編集者は「ルームに参加していないユーザーが編集」と表示されます。

② 文字起こし機能について

4. 管理画面の操作 – 文字起こしデータの絞り込み

文字起こし結果の絞り込み

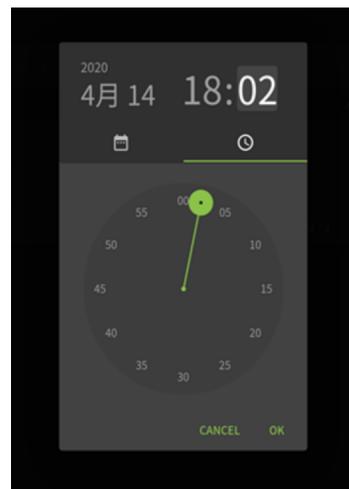
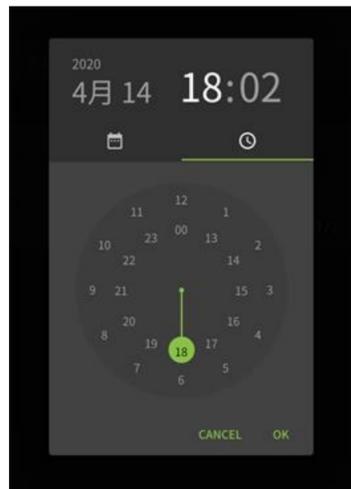
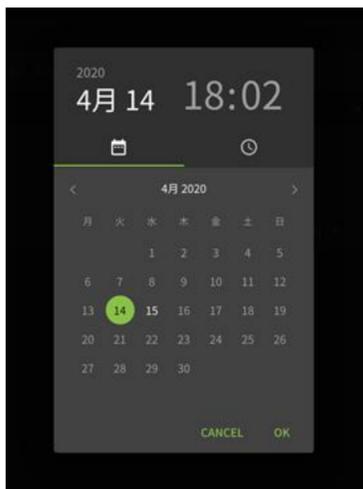
文字起こし結果を、「発言者」・「発言開始/終了時刻」で絞り込んで表示することができます。発言者は、氏名もしくはニックネームを直接入力することもできます。画面右上の [:] を開いて絞り込みを行います。



① [絞り込み] を選択します。



② [発言者] を選択します。※複数選択も可能



③ [開始/終了時刻] を設定します。



④ 絞り込み条件を確認し、結果を参照します。



⑤ 絞り込みを終了する場合は、クリアを押してください。

Tips

発言内容の絞り込みについては、管理画面上に表示されている部分から絞り込まれますので、表示されていない過去の発言内容を取得したい場合には、CSVダウンロード機能をご利用ください。

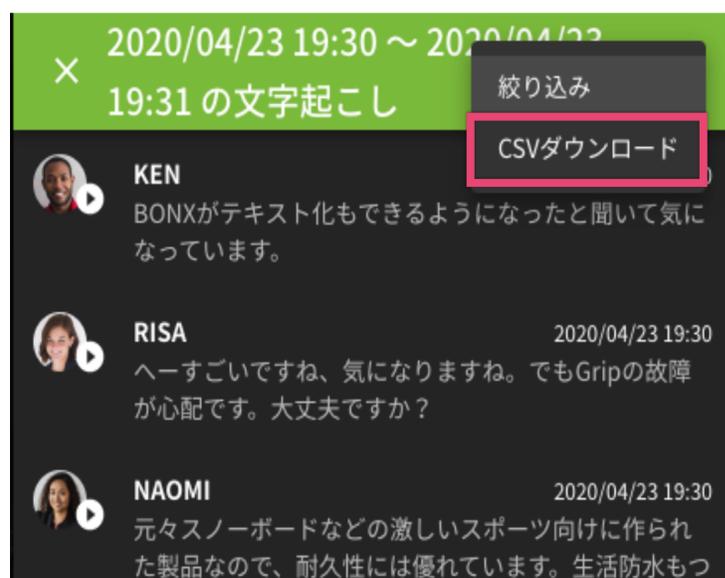
② 文字起こし機能について

5. 管理画面の操作 – 文字起こしデータのダウンロード

文字起こし結果のダウンロード

文字起こし結果は、文字起こし結果ごとにCSV出力をすることが可能です。
絞り込んだ内容でCSV出力もできます。
昇順/降順を切り替えた場合は、切り替えた順でCSV出力されます。

全ての内容をCSV出力する



右上の [⋮] から [CSVダウンロード] を選択します。

絞り込んだ結果をCSV出力する



絞り込みを行なった後に [⋮] から [絞り込んだ結果をCSVダウンロード] を選択します。※絞り込みは前ページ参照

ダウンロード準備中

CSVファイルの準備中です。ファイルの準備ができるまでお待ち下さい。
準備ができれば、自動的にダウンロードが開始されます。

CSVファイルの出力には一定の時間がかかります。
ファイルの準備ができるまでコンソール上にメッセージダイアログが表示されますので、準備ができるまでお待ち下さい。

CSVが1万行を超える場合は、過去分から切り捨ててダウンロードされます。
また、容量が大きくダウンロードが10分を超える場合は自動キャンセルされます。

Notice

文字起こしの絞り込み、CSVダウンロードはスマートフォンからアクセスした管理画面からは行えません。PCブラウザより操作をお願いいたします。

③ ユニットトーク機能について

1. 使い方 – マイクアイコン

ルームのマイクON/OFF

2つ以上の複数のルームに接続すると、接続したルームのアイコン横にマイクアイコンが表示されます。マイクアイコンをタップし、ステータスを変更することで発話するルームを切り替えることが可能です。下図はマイクステータス別の発話例です。
※同時に接続できるルーム数は7つまでです。※リスト表示をおすすめします

	ルームのマイクがONの状態です。
	ルームのマイクがOFFの状態です。

例①：接続中の全ルームがON



両ルームに発話ができます
※ルーム接続時の初期状態

例②：接続中の一部ルームをOFF



TestRoomには発話ができ、
TestRoom2はマイクOFFのため
発話できない状態です

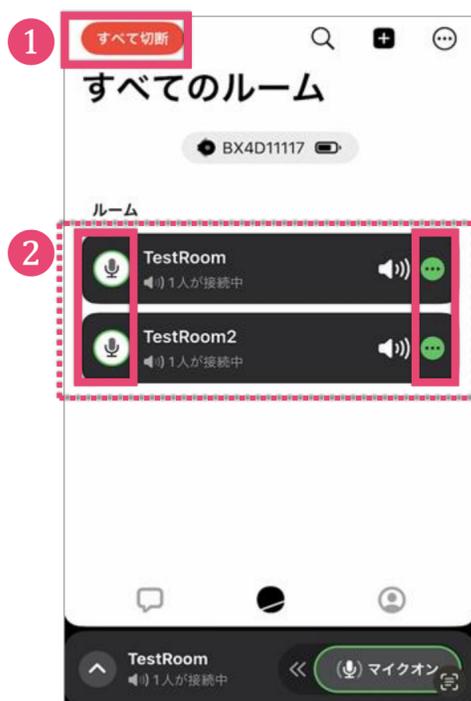
例③：接続中の全ルームをOFF



両ルームに発話ができない
状態です

その他の画面操作について

- 1 発話中のルームは、マイクアイコンの枠とルーム詳細が緑に光ります。
- 2 接続中の全ルームを一斉切断したいときは左上の「すべて切断」を押します。
- 3 画面下段の縮小表示されているトーク操作パネルからも操作が可能です。



矢印アイコンをタップすると、
接続中のルームが表示されます。
マイクステータス、音量調節、
全ルームからの一斉切断が可能です

③ ユニットトーク機能について

2. Tips – ボタンのダブルタップ

イヤフォンの操作でルーム切り替えを行う

トーク設定から、ボタンのダブルタップの設定を「マイクオンルームの切り替え」に変更すると、BONX BOOSTのメインボタンのボタン操作でマイクステータスを切り替えることが可能です。アプリ画面を開かず、発話したいルームを切り替えられる便利な機能です
※純正イヤフォン以外の動作保証はしていません。

設定方法



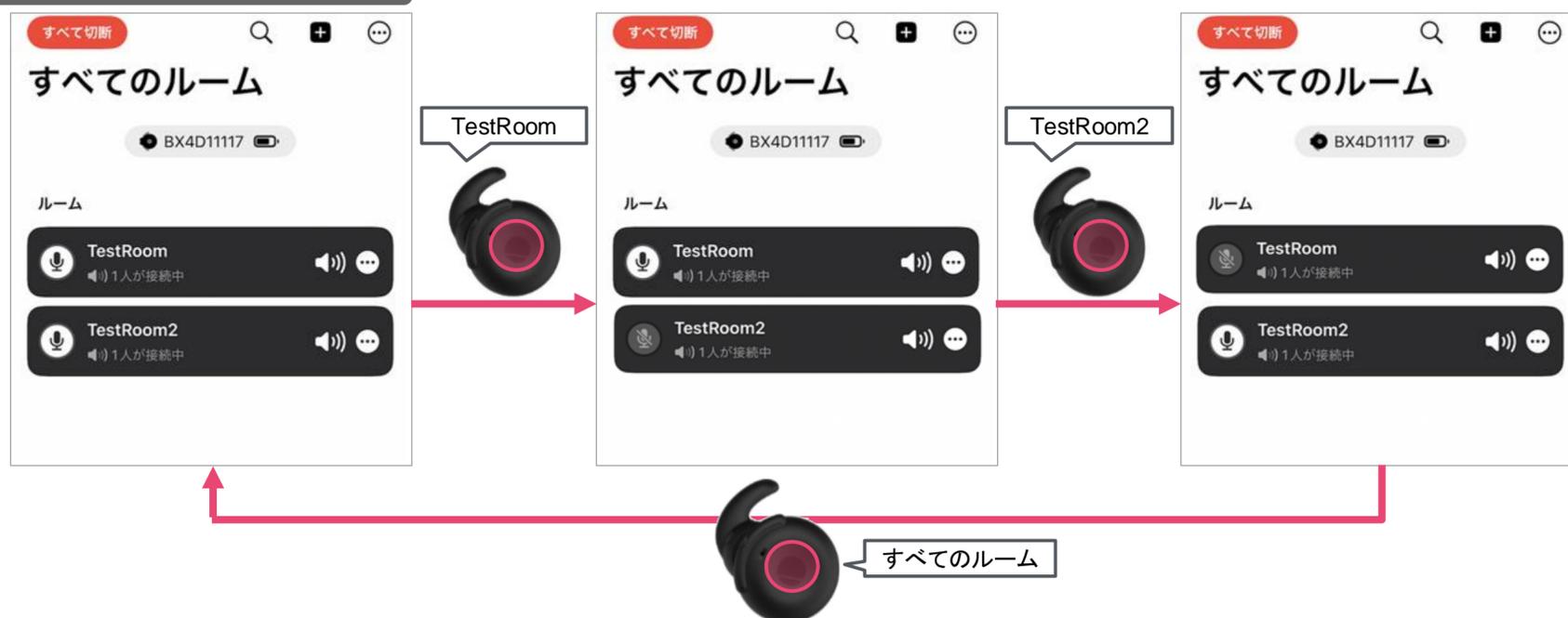
切り替わる順番

イヤフォンのボタンをダブルタップをする毎に、マイクオンのルームが切り替わります。切り替わる順番は、接続中ルームの並び順に則って切り替わっていきます。

- グリッド表示：左から右に切り替わります
- リスト表示：上から下に切り替わります

切り替わる際はマイクオンになるルーム名の読み上げが行われます。

イメージ (リスト表示)



③ ユニットトーク機能について

3. 使い方 – 音量調節

ルーム音量の調節

接続中のルームの音量を調節することができます。特定のルームだけを主に聞いておきたいときに活用いただけます。

※リスト表示にすることでルームアイコン上に音量調節ボタンが表示されます

※グリッド表示の場合、ルーム詳細もしくはトーク操作パネルから調節してください



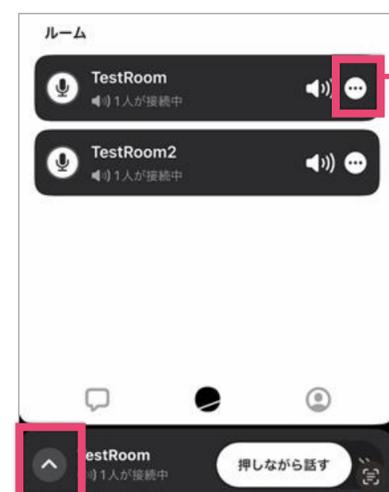
ルーム音量を調節するボタンです。0(消音)~3(大)の4段階調節ができます



① 全てのルーム音量が3(大)で聞こえる状態



② 音量ボタンをタップしてルーム毎に音量調節が可能

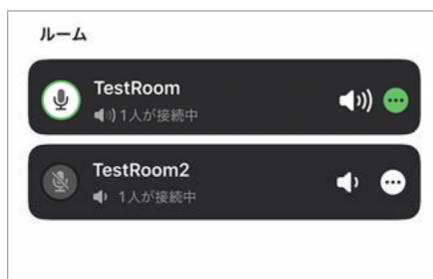


③ ルーム詳細もしくは、トーク操作パネルからも音量調節が可能



※順番にタップすることで3→2→1→0と切り替わります

例 1



- TestRoom
相手の声が3(大)で聞こえてきます。自分も発話が可能です。

- TestRoom2
相手の声が1(小)で聞こえてきます。マイクをオフにしているため発話できません。

例 2



- TestRoom
相手の声が3(大)で聞こえてきます。自分も発話が可能です。

- TestRoom2
消音のためルームの会話も聞こえず、発話もできません。

- 1on1ルーム
相手の声が1(小)で聞こえてきます。発話できません。

例 3



- TestRoom
相手の声が3(大)で聞こえてきます。自分も発話が可能です。

- TestRoom2
相手の声が3(大)で聞こえてきます。自分も発話が可能です。

- 1on1ルーム
消音のためルームの会話も聞こえず、発話もできません。

Tips

聞こえてくる音声は、その人が接続しているすべてのルームの音量設定の中の最大音量で再生されます。
例) 自分と会話相手がルーム1/ルーム2に接続していて、ルーム1の音量は0、ルーム2の音量は3にしていた場合、会話相手の声は音量3で聞こえます。

④ チャット機能について

1. 遷移方法

メッセージ画面への遷移方法

ルーム内のメンバーとチャット形式でテキスト・画像・音声を送ることができる機能です。トーク操作パネルやルーム詳細からメッセージ画面に移動し、テキスト等を送ります。すべてのルームからワンタップでメッセージの一覧画面に移動することも可能です。

トーク操作パネルから移動



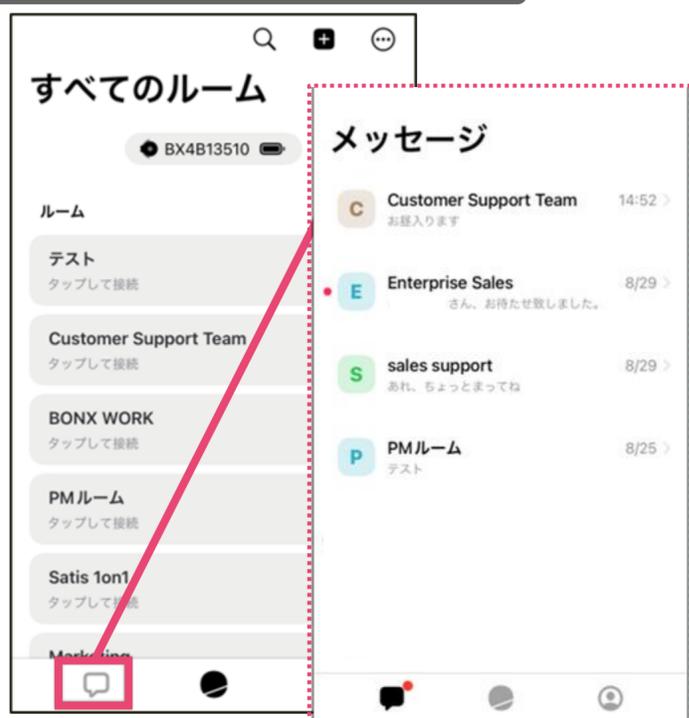
接続中のルームのトーク操作パネルの左端の吹き出しアイコンをタップします

ルーム詳細からの移動



チャットを送りたいルームのルーム詳細から移動することも可能です

メッセージ一覧にワンタップ移動



すべてのルーム画面の吹き出しアイコンをタップすると、参加しているルームのメッセージ一覧画面に遷移します。ルーム名をタップすると、各ルームのメッセージ画面に移動します



メッセージ画面が表示されます

④ チャット機能について

2. 使い方 – 送信方法

各種アイコンの説明



	画像を撮って送るときに使用します
	アルバムの画像を選んで送るときに使用します
	音声メッセージを送るときに使用します
	定型文を送るときに使用します

テキスト送信方法

※定型文の送信方法は21ページをご覧ください



メッセージの入力フィールドで文章を打ち、「」から送信します



自分のメッセージは、黒の背景で表示されます

相手のメッセージは、グレーの背景で表示されます

テキストがチャット形式で表示されます

音声入力でテキスト送信する方法

※端末によって操作が異なる場合がございます



キーボードのマイクボタンを押します



伝えたい内容を話し、「」から送信します



話した言葉がテキスト化され、送信されます

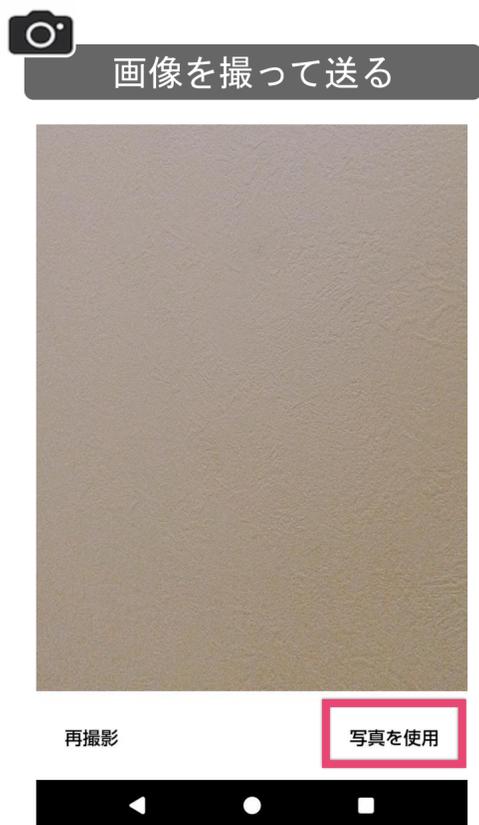
④ チャット機能について

2. 使い方 – 送信方法

画像・音声メッセージの送信方法



	画像を撮って送るときに使用します
	アルバムの画像を選んで送るときに使用します
	音声メッセージを送るときに使用します
	定型文を送るときに使用します



写真を撮り、[写真を使用]をタップすると送信されます

撮り直しは画面左端の[再撮影]をタップします



画像を選び(複数可)、[追加]をタップします。メッセージの入力フィールドに画像が入ります。[↑]をタップすると送信されます。



[↑] ボタンをタップすると音声を送信されます
左側の [ごみ箱] をタップすると音声録音が停止し、削除されます

メッセージ横の [▶] をタップし、音声を再生します

Tips

音声は、1秒以上5分以下のデータが送信可能です。

④ チャット機能について

3. 使い方 – 定型文の登録方法

定型文の登録方法

予めよく使う文章を登録しておくことで、打つ時間を省き、伝えたいことを素早く伝えられる機能です。 ※最大5つまで定型文の登録をすることができます。



メッセージ画面内の [+] から定型文の画面を表示します



登録がない状態の画面です。
[+] から定型文の登録に進みます



定型文のフィールドに文字を打ち*、
[保存] します。定型文が追加されます
*2048byte(日本語の場合約1000文字)以上の登録はできません



定型文を削除する時は、左へスワイプします

定型文の送信方法



メッセージ画面内の [+] から定型文の画面を表示します



送る定型文をタップします



入力フィールド内に定型文が挿入されます

[↑] を押すと、そのまま送信されます
文章を編集してから送ることも可能です

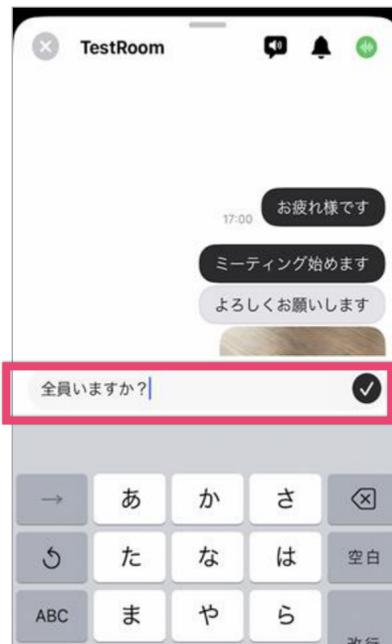
④ チャット機能について

4. 使い方 – 編集・削除・コピー

自分が送った内容の編集や削除ができます。テキストは、文章の編集・削除・コピーを行います。画像は、削除・保存が可能です。音声は削除のみ可能です。



① テキストを長押しすると、編集・削除・コピーが表示されます



② テキストを編集します



③ 編集すると「編集済み」削除すると「メッセージを削除しました」が表示されます



④ 他の人のテキストはコピーのみ可能です

⑤ ライブ配信機能について

1. 概要・注意事項

ライブ配信機能とは

配信者の映像をメンバー同士で確認しながら、通話ができる機能です。相互に映像を確認しながら業務を進めるシーンなどに、ぜひご活用ください。

プラン標準搭載のライブ配信とライブ配信+がございます。下記表を参照してください。

24年10月現在、期間限定でライブ配信+を無料付帯中です

	ライブ配信	ライブ配信+
1配信あたりの最大参加可能人数	15人	無制限
1配信あたりの最大連続通話時間	30分	無制限
同時配信可能数 ^{※1}	1つ	無制限 ^{※2}
過去配信の閲覧	×	○

※1 テナント内で同時にライブ配信を行える数

※2 同時に複数のライブ配信に参加することはできません（1ユーザー1配信）

今後のアップデートにてご利用いただける内容が変わる場合もございます

注意事項

- ・ 本機能は、ビジネスプランご契約のお客様のみの機能です
- ・ ライブ配信を行うルームに未参加のメンバーと配信を行う場合は、事前に該当ルームへの参加が必要です
- ・ ライブ配信中は、ライブ配信内での通話のみが可能です
別のトークルーム内での通話や他の画面への遷移は行えません
- ・ ライブ配信途中で配信者がメンバーへ新たに配信招待を送ることはできませんが、参加者側はすべてのルーム画面上から途中参加が可能です
- ・ ライブ配信利用時の通信量は、15分の配信で約0.2GB発生いたします
配信時間や配信頻度によっては、予想以上に通信量を消費する場合がございます

ライブ配信中に電話の着信があった場合

配信者に着信があった場合、受話の有無に関わらず、着信時点でライブ配信が終了します。参加していたメンバーは、元の接続中のルームに戻ります。配信を再開したい場合は改めて配信の開始が必要です。

参加者に着信があった場合、受話の有無に関わらず、着信を受けた人のみがライブ配信から退出します。配信に再度参加したい場合は、すべてのルーム画面上から参加が可能です

⑤ ライブ配信機能について

2. ライブ配信方法

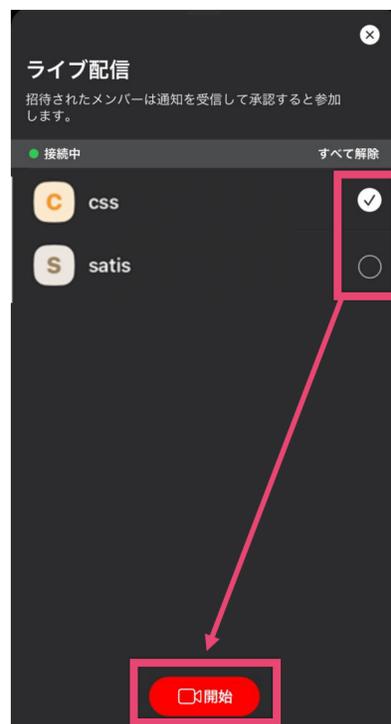
ライブ配信を開始する

配信者は、ライブ配信を行いたいルームに接続し、ライブ配信アイコンから配信を始めます。ライブ配信中は、ライブ配信を行なっているメンバー間での通話のみが可能です。ライブ配信/参加中は、接続中の全トークルームから切断状態になります。ライブ配信終了後には、全トークルームに戻ります。

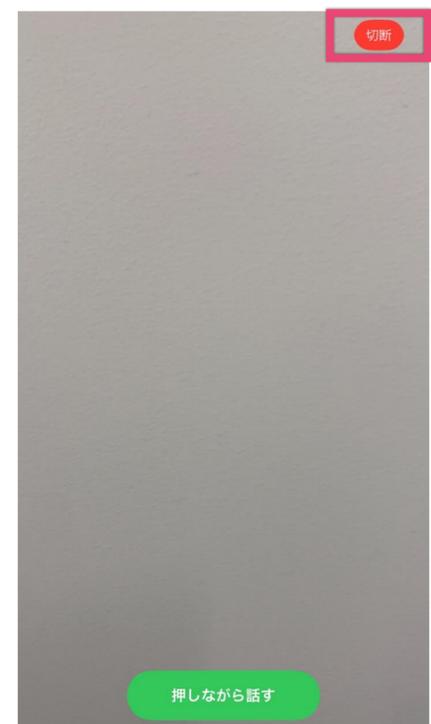
配信を開始するユーザーの操作



ライブ配信アイコンをタップします



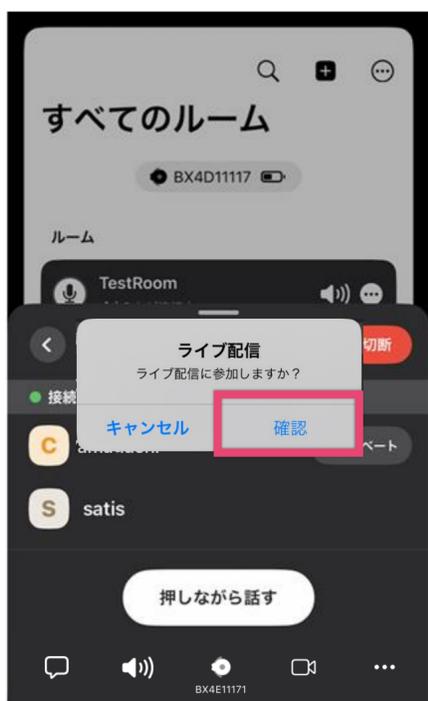
配信の招待を送るメンバーを選び、
「開始」を押します
※接続中メンバーが一覧表示されます
※ルーム未参加、未接続メンバーは招待不可



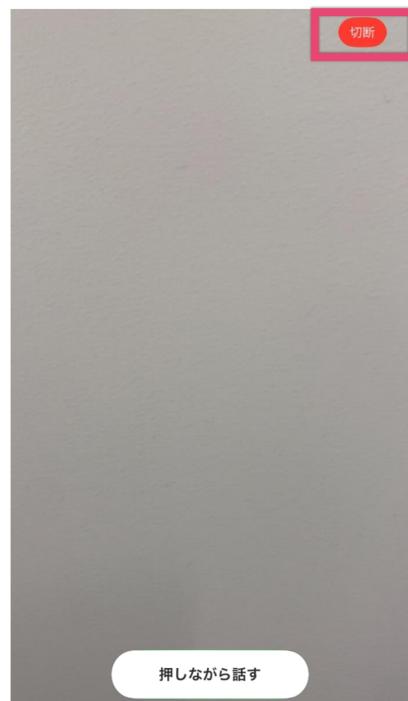
ライブ配信が開始されます

配信終了時は右上の「切断」から
終了してください

配信に招待されたユーザーの操作



配信に招待されると
ポップアップ通知が表示されます
「確認」を選ぶと配信画面に遷移します
※参加しない場合は、キャンセルを選びます



配信者の画面を見ながら
参加メンバー同士で通話が可能です
配信から退出する時は右上の
「切断」を押すと元のルームに戻ります

配信時の注意事項、
電話着信時の挙動については
前ページを確認して下さい

⑤ ライブ配信機能について

3. 過去配信の閲覧

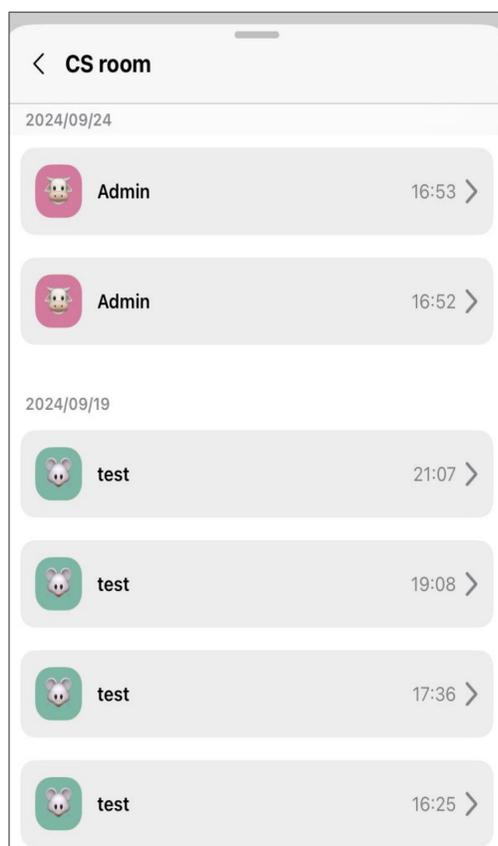
閲覧手順

ライブ配信を行うと、自動的に録画・保存されます。
配信されたルームに参加している全メンバーが過去のライブ配信を閲覧することが可能です。

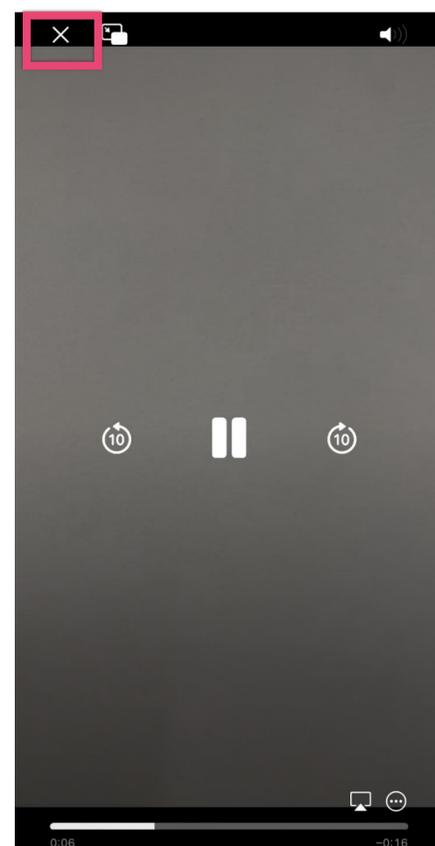
※録画ファイルは配信者のニックネーム名で保存されます
※録画のオン・オフ機能はございません



ルーム詳細から [ライブ配信] をタップします



日時の新しい順に過去のライブ配信が一覧表示されます
閲覧したい配信をタップすると再生画面に遷移します



配信が自動で再生されます
左上のxを押すと一覧画面に戻ります

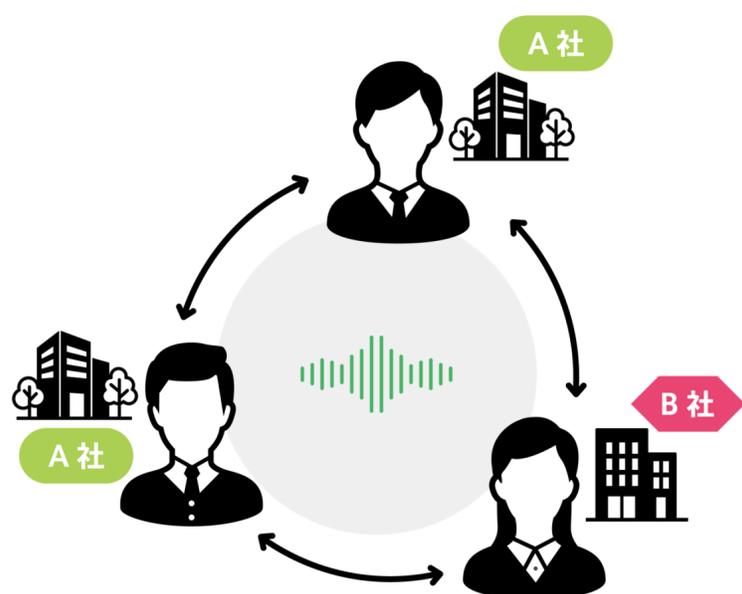
⑥ テナントまたぎ機能について

1. 概要・注意事項

テナントまたぎ機能とは

本機能を利用すると、別のテナントのユーザーと同じルームで会話することが可能になります。異なる店舗や協力会社とテナントまたぎを設定することでコミュニケーションの幅が広がります。

テナントまたぎを行なっているルームは、すべてのルーム画面上で「テナント間連携ルーム」にルーム名が表示されるので、どのルームが別のテナントと繋がっているか一目でわかるようになっています。



(テナントまたぎ中のアプリ画面イメージ)

注意事項

- ・ 本機能はご契約後にBONX側での設定が必要になります
別途お申し込みが必要です。BONXサポートチームへお問い合わせください
- ・ 設定には最長10営業日いただいております
設定完了したのち、BONXよりご案内いたします
- ・ テナントまたぎには、ルーム招待側（ホスト）とルーム参加側（ゲスト）によって、
行える操作が異なります。詳細は、次ページ以降をご覧ください

⑥ テナントまたぎ機能について

2. ホスト・ゲストについて

ホスト・ゲストの考え方

テナントまたぎには、ホストとゲストという考え方があり、行える操作が異なります（詳しくは次ページをご覧ください）
また、自分がどちらに該当するかは、ルームアイコン下のテナント名の表示の有無より判断いただけます。 ※ルームアイコンの表示形式は、リスト表示を推奨します

ホスト	・自テナントにて、該当ルームの作成/招待を行なうユーザー ・上記ユーザーと同テナントに所属しているユーザー
ゲスト	・該当ルームを作成したユーザーとは異なるテナントに所属しているユーザー

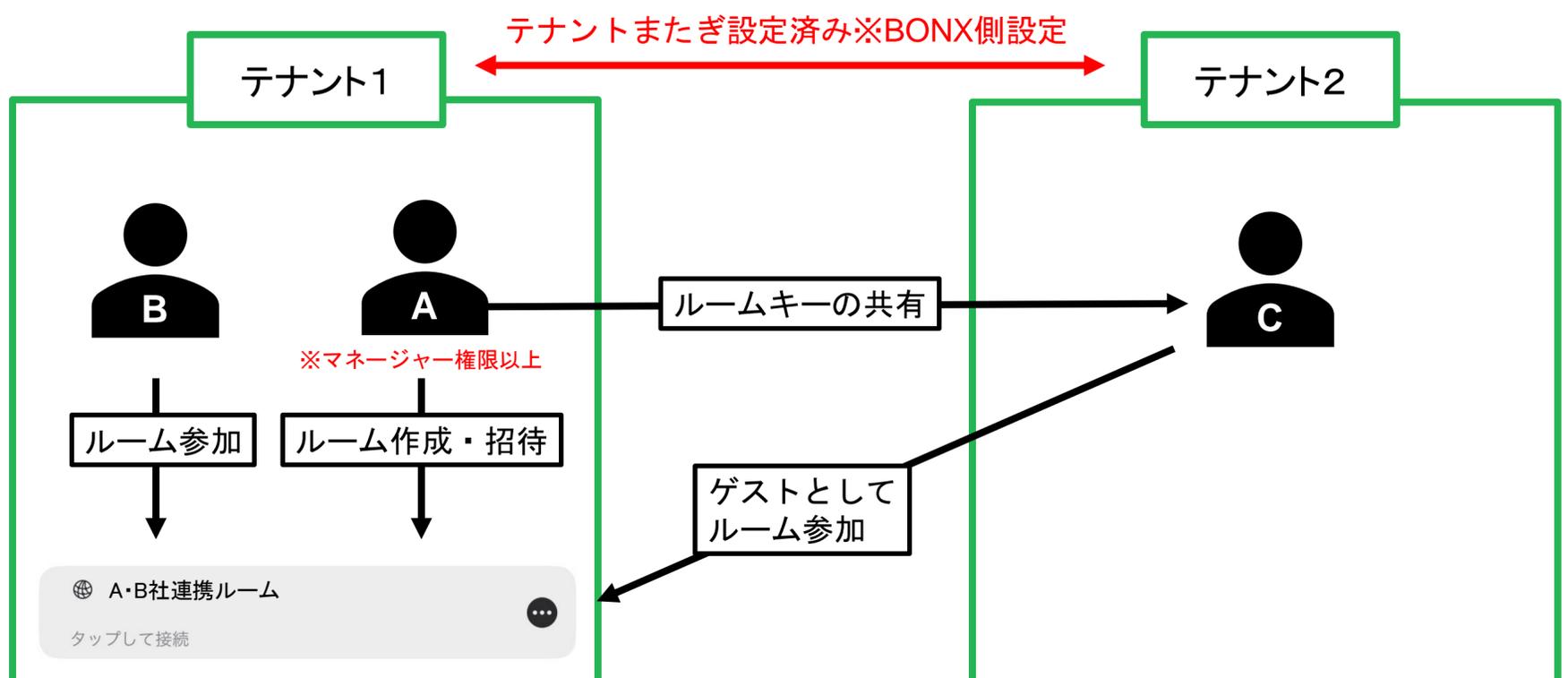


ゲストの場合、テナントまたぎをしているルームのアイコン上にホストのテナント名（会社名）が表示されます

テナントまたぎのイメージ

下図はテナント1側が連携するルームを用意し、テナント2のユーザーを招待する構図です。この場合、テナント1側にいるユーザーがホスト（Aさん、Bさん）。テナント2側からルーム参加したユーザーがゲスト（Cさん）になります。

逆にテナント2側で連携するルームを用意し、テナント1のユーザーを招待した場合は、テナント2側のユーザーがホスト、テナント1側からルーム参加したユーザーがゲストになります。



⑥ テナントまたぎ機能について

3. 操作可能範囲の違い

ルーム招待側（ホスト）とルーム参加側（ゲスト）によって、行える操作が異なります

	ホスト	ゲスト	補足
チャット	○	×	ホスト側：ホストユーザー同士でのチャットが可能 ゲスト側：利用不可
録音	○	×	ホスト側：操作権限あり、管理画面から録音データのDL可能 ゲスト側：操作権限なし ホスト側で該当ルームの録音を行った場合、ホスト・ゲストの音声問わず、ルーム内のすべての音声は録音データに含まれます。
文字起こし	○	×	ホスト側：操作・閲覧権限あり、管理画面からCSVデータDL可能 ゲスト側：操作権限なし ホスト側で文字起こしを開始した場合、ゲスト側の音声も文字起こしに反映され、文字起こし結果としてデータに含まれます。
プライベートトーク	○	○	操作方法はスタートアップガイドトーク編をご覧ください
ルーム名編集	○	×	ホスト側：編集可能 ゲスト側：編集不可
ライブ配信	△	△	双方のテナントがビジネスプラン（ライブ配信の契約）であれば、双方で配信可能です 片方のテナントのみライブ配信の契約をしている場合は、そのテナント側のユーザーのみで配信可能

※今後のアップデートにて上記内容に変更がかかる場合もございます

⑥ テナントまたぎ機能について

4. アプリ操作

ルーム招待・参加方法

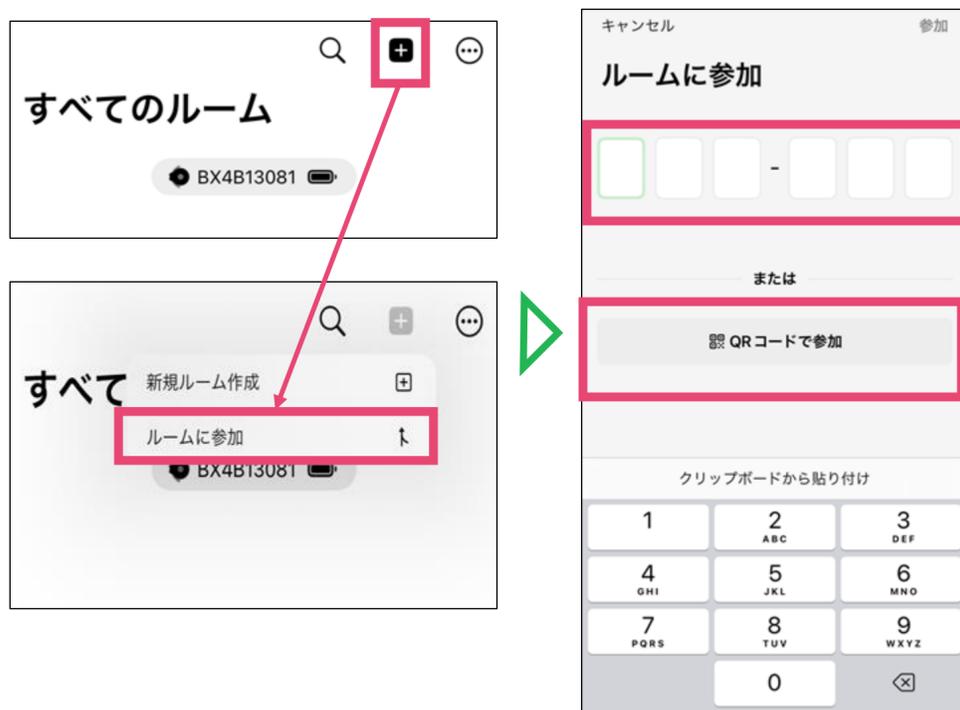
ホスト（招待する側）は、該当ルームの「ルームへ招待」からゲストにルームキー・QRコードを共有します。ゲストは「ルームに参加」から該当ルームへ参加を行います。
※招待時はルームキーもしくはQRコード招待を行なってください。

ホスト：ルーム招待側操作



招待したいルームのルーム詳細から「ルームへ招待」を開きます。メンバーリストには自テナントのメンバーのみ表示されるため、「招待コード」をタップし、ルームキーもしくはQRコードをゲスト側に共有してください。

ゲスト：ルーム参加側操作



通常のルーム参加方法と同じく、「+」から「ルームに参加」をタップし、ホスト側から共有されるルームキーの入力もしくはQRコードの読み取りを行います。

参加後のトークルームについて

テナントまたぎのルームに参加すると、すべてのルーム画面上では「テナント間連携ルーム」にルームアイコンが表示されます。また、トーク操作パネルを開くと、自身とは異なるテナントに所属しているメンバーの横には、🌐アイコンが表示されますのでメンバーを識別する際の参考にしてください。



テナントまたぎをしているルーム名の横にアイコンが表示されます。ゲストの場合、ルーム名の下にホストのテナント名（会社名）が表示されます。

自テナントではないユーザーの横にアイコンが表示されます。